



主力製品 血液検査装置の樹脂部品

- 本社所在地：茨城県笠間市
- 事業概要：精密プラスチック製品の設計・試作から量産、検査、組立までを一貫して担う
- 常時使用する従業員：232名
(2025年9月時点)
- 現在の売上高：31.4億円
(2025年9月期)
- 法人番号：5011801001701
- Web：https://sanetsu-kogyo.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
田中 敦司

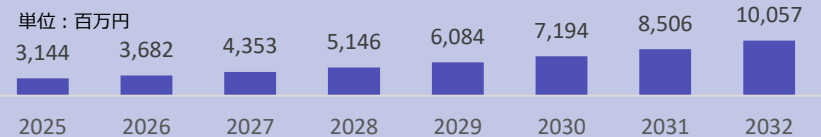
精密技術を深化させ、世界の医療課題を解決する

サンエツ工業は40年以上に渡りグローバルな医療インフラを裏方から支えてまいりました。現在、世界的な高齢化と人口増加を背景に、血液検査装置のグローバル需要はかつてないスピードで拡大しています。今般、私たちが掲げる「売上規模100億円」という目標、それは単なる数値の追求ではなく、急増する世界の医療需要に供給ボトルネックを生じさせないための「不可欠な使命」です。当社は精密樹脂加工に加え、精密金属（鈑金）加工を統合した「ユニットサプライヤー」へと進化します。医療供給網の安定化という重責を果たし、関わるすべてのステークホルダーへ確実な価値を還元してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高100億円達成に向け、年平均18%の成長を目指す。急増する世界の医療需要に対し、従来の部品単体から「複合ユニット供給」へ事業基盤を高度化することで、本目標を実現する。



課題

- 【課題1】各種専門人材の獲得・育成と組織マネジメントの高度化
- 【課題2】増大する需要を確実に取り込める大規模な生産キャパシティの構築と品質管理体制の進化
- 【課題3】次なる成長の柱となる「新規領域への展開」と「自社製品開発」の推進

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 【施策1】設備投資で生産体制増強、ユニットサプライヤーへ進化
 - SANETSU Smart Factory vision 2030を掲げAI・DX・IoTを活用しロジスティクス機能を向上した工場を増設し生産工程のデジタル化へ挑戦し、複合ユニットの一貫供給を実現する。
- 【施策2】製品・サービスの競争強化(圧倒的品質差別化と先進性)
 - AI vision・MESを導入し品質管理システムの再構築を図る。
- 【施策3】新分野進出と自社製品開発による成長エンジンの多角化
 - 拡大したユニット製造能力で他分野を開拓し、将来は自社製品で独自の収益源を築く。

実施体制

- 【体制1】経営陣による統括とKPI進捗管理
 - 経営陣主導の委員会を設置し、売上高やデジタル化率などのKPI進捗を月次・年次で厳格に管理する。
- 【体制2】営業・技術開発・製造の横断的連携
 - 樹脂・金属・鈑金・組立の複合化に対応するため、部門横断チームを組織し一貫対応する。
- 【体制3】組織基盤の強化および外部パートナーとの高度な連携
 - 品質管理・多素材技術者などの高度人材の採用・育成を推進し、金融機関や専門家と強固に連携する。